



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 宇野澤組鐵工所
コード番号 6396 URL <http://www.unozawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宇野澤 虎雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 田村 博

TEL 03-3759-4191

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,534	43.3	214	399.1	212	457.0	163	115.8
22年3月期第2四半期	1,768	△36.1	48	△83.7	38	△86.9	75	8.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	14.60	—
22年3月期第2四半期	6.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	6,830	1,710	25.0	152.99
22年3月期	6,496	1,590	24.5	142.24

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,710百万円 22年3月期 1,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,030	24.5	380	—	370	—	240	—	21.42

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 11,200,000株 22年3月期 11,200,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 20,223株 22年3月期 20,103株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 11,179,797株 22年3月期2Q 11,180,518株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
【第2四半期会計期間】	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
売上高、受注高及び受注残高の状況	12

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとするアジア諸国を中心とした新興国の高い経済成長を背景に、輸出産業を主とした穏やかな回復傾向の兆しが見られましたが、欧米諸国の経済危機に端を発した円高の進行や株式市況の低迷、国内失業率が高水準にあるなど、依然として不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当第2四半期累計期間の業績は売上高2,534百万円となりました。

損益面におきましては、営業利益214百万円、経常利益212百万円、四半期純利益は163百万円となりました。

セグメント別に示しますと製造事業の売上高は2,193百万円となりました。これを製品別に見ますと、液晶表示製造装置用および太陽電池製造装置用等の真空ポンプの売上高は1,142百万円となりました。

送風機・圧縮機においても石油化学向けや化学工業向けの用途があったこと等により、売上高は573百万円、部品および修理の売上高は452百万円、その他の売上高25百万円となりました。

また、輸出関係につきましてはインド、アルジェリア、タイ、中国向けが主なもので売上高は525百万円となりました。

不動産事業につきましては、賃貸ビルの賃料引き下げがあったものの売上高は341百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末と比べ、総資産は333百万円増加し、6,830百万円、純資産は120百万円増加し、1,710百万円となりました。この主な要因は以下のとおりであります。

資産は、現金及び預金が295百万円増加、受取手形及び売掛金が200百万円増加、仕掛品が99百万円減少、未収入金が87百万円減少しました。

負債は、支払手形及び買掛金が128百万円増加、未払法人税等が78百万円増加しました。

純資産は、利益剰余金が129百万円増加しました。この結果、自己資本比率は前事業年度末比0.5%上昇し、25.0%となりました。

(キャッシュフローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末比295百万円増加し、1,249百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は370百万円となりました。主な要因は税引前四半期純利益による収入が188百万円、仕入債務の増加による収入が128百万円、たな卸資産の減少による収入が126百万円、減価償却費による収入が73百万円、売上債権の増加による支出が200百万円です。

前年同四半期会計期間との比較では、営業活動キャッシュフローは43百万円減少しました。これは主に税引前四半期純利益が157百万円増加、法人税等の還付による収入が93百万円増加、仕入債務の減少による支出が92百万円増加したにも拘わらず、売上債権の増加による支出が241百万円増加前受金の減少による支出が126百万円増加したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は71百万円となりました。主な要因は有形固定資産の支出が41百万、預り

保証金の返還による支出が32百万円です。

前年同四半期会計期間との比較では、資金は54百万円減少となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が21百万円、預り保証金の返還による支出が17百万円各々増加したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は3百万円となりました。主な要因は長期借入金の返済による支出が319百万円、長期借入金の増加による収入が397百万円、社債の償還による支出が60百万円あったこと等によるものです。

前年同四半期会計期間との比較では、資金の減少が66百万円増加しました。これは短期借入金の減少による支出が72百万円減少したにも拘わらず、長期借入金の増加による収入が137百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、長期的には穏やかな回復傾向で推移すると思われまます。当社におきましてはアジア諸国を中心とした新興国の需要に牽引されて輸出割合が伸びており、売上は上向きに推移する見込みです。

当会計年度(平成23年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高5,030百万円、営業利益380百万円、経常利益370百万円、当期純利益240百万円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

<簡便な会計処理>

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

<四半期財務諸表の作成に特有の会計処理>

当第2四半期会計期間(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる利益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,249,637	953,850
受取手形及び売掛金	1,622,230	1,421,709
仕掛品	645,552	744,879
原材料及び貯蔵品	287,137	314,692
その他	134,030	191,330
貸倒引当金	△168	△142
流動資産合計	3,938,419	3,626,320
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,520,523	1,541,171
その他(純額)	774,208	745,468
有形固定資産合計	2,294,731	2,286,640
無形固定資産		
投資その他の資産	1,070	2,067
その他	882,979	871,335
貸倒引当金	△286,744	△289,714
投資その他の資産合計	596,234	581,621
固定資産合計	2,892,036	2,870,329
資産合計	6,830,456	6,496,649
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	852,905	724,251
短期借入金	1,144,804	1,096,032
未払法人税等	78,128	—
賞与引当金	79,433	72,661
その他	381,305	398,115
流動負債合計	2,536,577	2,291,060
固定負債		
社債	10,000	50,000
長期借入金	1,744,920	1,704,601
退職給付引当金	374,129	343,336
役員退職慰労引当金	115,255	111,663
その他	339,127	405,709
固定負債合計	2,583,432	2,615,310
負債合計	5,120,010	4,906,370

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,000	785,000
資本剰余金	303,930	303,930
利益剰余金	572,752	443,029
自己株式	△6,730	△6,715
株主資本合計	1,654,952	1,525,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55,493	65,033
評価・換算差額等合計	55,493	65,033
純資産合計	1,710,445	1,590,279
負債純資産合計	6,830,456	6,496,649

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,768,881	2,534,604
売上原価	1,408,491	1,999,360
売上総利益	360,389	535,244
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	92,632	86,310
賞与引当金繰入額	15,567	15,137
退職給付費用	9,114	8,595
役員退職慰労引当金繰入額	4,910	3,591
その他	189,384	207,391
販売費及び一般管理費合計	311,608	321,026
営業利益	48,780	214,217
営業外収益		
受取利息	945	1,008
受取配当金	3,054	3,117
助成金収入	4,661	4,495
その他	11,025	18,069
営業外収益合計	19,687	26,690
営業外費用		
支払利息	28,664	27,046
その他	1,661	1,417
営業外費用合計	30,326	28,464
経常利益	38,142	212,443
特別利益		
固定資産売却益	—	2,526
貸倒引当金戻入額	14,352	2,969
特別利益合計	14,352	5,495
特別損失		
たな卸資産除却損	7,510	—
固定資産除却損	3,434	24,791
投資有価証券評価損	—	5,083
特別損失合計	10,944	29,875
税引前四半期純利益	41,549	188,063
法人税、住民税及び事業税	2,378	71,524
法人税等調整額	△36,497	△46,722
法人税等合計	△34,119	24,801
四半期純利益	75,668	163,262

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,011,199	1,502,693
売上原価	826,868	1,134,720
売上総利益	184,330	367,972
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	43,706	39,267
賞与引当金繰入額	10,608	10,592
退職給付費用	4,602	4,272
役員退職慰労引当金繰入額	2,455	1,136
その他	90,490	117,608
販売費及び一般管理費合計	151,862	172,876
営業利益	32,467	195,095
営業外収益		
受取利息	475	532
受取配当金	180	50
法人税等還付加算金	—	2,603
その他	6,468	7,969
営業外収益合計	7,123	11,155
営業外費用		
支払利息	14,434	13,470
その他	695	978
営業外費用合計	15,130	14,448
経常利益	24,460	191,801
特別利益		
固定資産売却益	—	2,526
貸倒引当金戻入額	10,722	2,969
特別利益合計	10,722	5,495
特別損失		
たな卸資産除却損	7,510	—
固定資産除却損	3,391	15,564
その他	—	160
特別損失合計	10,902	15,724
税引前四半期純利益	24,280	181,572
法人税、住民税及び事業税	1,189	70,334
法人税等調整額	△37,148	△21,988
法人税等合計	△35,959	48,346
四半期純利益	60,240	133,226

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	41,549	188,063
減価償却費	98,940	73,458
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14,352	△2,943
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,309	6,772
退職給付引当金の増減額(△は減少)	27,342	30,792
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,910	3,591
受取利息及び受取配当金	△4,000	△4,126
支払利息	28,664	27,046
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,083
固定資産除却損	3,434	24,791
固定資産除売却損益(△は益)	—	△2,526
売上債権の増減額(△は増加)	519,402	△200,521
たな卸資産の増減額(△は増加)	33,383	126,882
その他の資産の増減額(△は増加)	9,685	△48,192
仕入債務の増減額(△は減少)	△359,565	128,654
その他の負債の増減額(△は減少)	45,644	△55,366
小計	430,728	301,461
利息及び配当金の受取額	4,016	4,139
利息の支払額	△29,434	△27,137
法人税等の支払額	△102,770	△1,235
法人税等の還付額	—	93,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	302,539	370,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△92,942	△41,491
有形固定資産の売却による収入	3,753	4,343
貸付金の回収による収入	4,347	1,882
預り保証金の返還による支出	△7,836	△32,410
預り保証金の受入による収入	10,252	—
その他	8,421	△3,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,003	△71,220
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	12,000
長期借入れによる収入	534,000	397,000
長期借入金の返済による支出	△320,364	△319,909
社債の償還による支出	△70,000	△60,000
自己株式の取得による支出	—	△15
配当金の支払額	△33,175	△33,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,460	△3,990
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	358,996	295,786

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
現金及び現金同等物の期首残高	500,758	953,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	859,755	1,249,637

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は真空ポンプ、ブロワ等各種ポンプの製造販売事業を展開している「製造事業」とオフィスビルを中心に不動産賃貸事業を展開している「不動産事業」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,193,341	341,262	2,534,604
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,193,341	341,262	2,534,604
セグメント利益又は損失(△)	△51,721	265,938	214,217

当第2四半期会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	製造事業	不動産事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,332,747	169,945	1,502,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,332,747	169,945	1,502,693
セグメント利益	64,386	130,709	195,095

- 3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額（営業利益）との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
該当事項はありません。

当第2四半期会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
該当事項はありません。

- 4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
該当事項はありません。

4. 補足情報

売上高、受注高及び受注残高の状況

(セグメント別売上高)

(単位：千円)

	前第2四半期 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで		当第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで		対四半期増減率	
	金額	比率%	金額	比率%	金額	比率%
製造事業						
製品別						
真空ポンプ	524,955	29.7	1,142,231	45.1	617,276	117.6
送風機・圧縮機	364,017	20.6	573,100	22.6	209,084	57.4
部品及び修理	441,720	25.0	452,928	17.9	11,208	2.5
その他	69,696	3.9	25,080	0.9	△44,616	△64.0
製造事業計 内(輸出品)	1,400,388 (233,511)	79.2 * (16.7)	2,193,341 (525,305)	86.5 * (23.9)	792,953 (291,794)	56.6 (124.9)
不動産事業	368,492	20.8	341,262	13.5	△27,230	△7.4
合計	1,768,881	100.0	2,534,604	100.0	765,723	43.3

(注) *の輸出品構成比率は製造事業売上高に対するものです。

(製造事業受注高及び受注残高)

(単位：千円)

製造事業	受注高			受注残高		
	前第2四半期	当第2四半期	対四半期増減	前第2四半期	当第2四半期	対四半期増減
製品別						
真空ポンプ	487,792	978,460	490,667	352,283	469,750	117,467
送風機・圧縮機	587,811	507,357	△80,453	701,789	573,633	△128,156
部品及び修理	445,215	501,404	56,188	139,087	121,870	△17,217
その他	150,067	9,610	△140,456	96,292	6,090	△90,202
合計	1,670,886	1,996,832	325,946	1,289,453	1,171,343	△118,109